

# 3) 住民（市町村）がん検診の概要

令和3年度厚生労働科学研究

精神障害のある方に対するがん検診及びがん診療のアクセシビリティを向上するための実装研究

分担研究：かかりつけ精神科の臨床場面における精神障害者に対するがん検診勧奨法の

実施可能性の検討-多施設介入研究

2021年12月29日 ver1.0

# 住民検診について理解する

## ■住民（市町村）がん検診

- 市町村が住民に対してがん検診を提供する
- 市町村が指定する医療機関や検診バスなどで受けることができる
- 補助により、少額の自己負担/無料で受けることができる
- 市町村が住民に対して、案内している（リーフレットを配布等）

## ■職域がん検診

- 職場や保険者が「健康診断」と一緒に、がん検診を提供する
- 補助により、少額の自己負担/無料で受けることができる
- 小規模な会社ではがん検診を提供していない
- 非正社員には実施されないことが多い

## ■任意がん検診

- 「人間ドック」など、個人が医療機関で任意で受ける検診
- 全額自己負担

# 個別がん検診と、集団がん検診

	実施施設	日時	予約	結果通知方法
個別 検診	市の検診施設として登録された、病院またはクリニック 	施設に連絡をして、希望する日時を相談する	必要	受診した医療機関から郵送などで通知
集団 検診	保健センター 公民館 学校など 	場所により日時が決まっている	市町村によって要否が異なる	市町村から郵送などで通知

- 都市部では個別検診が中心になりつつある
- 隣接市町村の医療機関が検診施設として登録される場合もある
- 各年度の検診は6月開始が多いが、終期は10月末～1月末など幅がある

# 費用について

- 市町村の補助で基本的に安くなっている
- 市町村によって異なるが、大腸がんで300円～1200円程度
- 70歳や75歳以上ではさらに安くなっている市町村が多い
- 生活保護世帯、非課税世帯の方等は無料券の対象になるが、窓口への連絡や訪問などの事前手続きが基本的に必要



# 4) 住民（市町村）がん検診 を勧奨する流れ

令和3年度厚生労働科学研究

精神障害のある方に対するがん検診及びがん診療のアクセシビリティを向上するための実装研究

分担研究：かかりつけ精神科の臨床場面における精神障害者に対するがん検診勧奨法の

実施可能性の検討-多施設介入研究

2021年12月29日 ver1.0



# 市町村によって受診する手続きが異なる

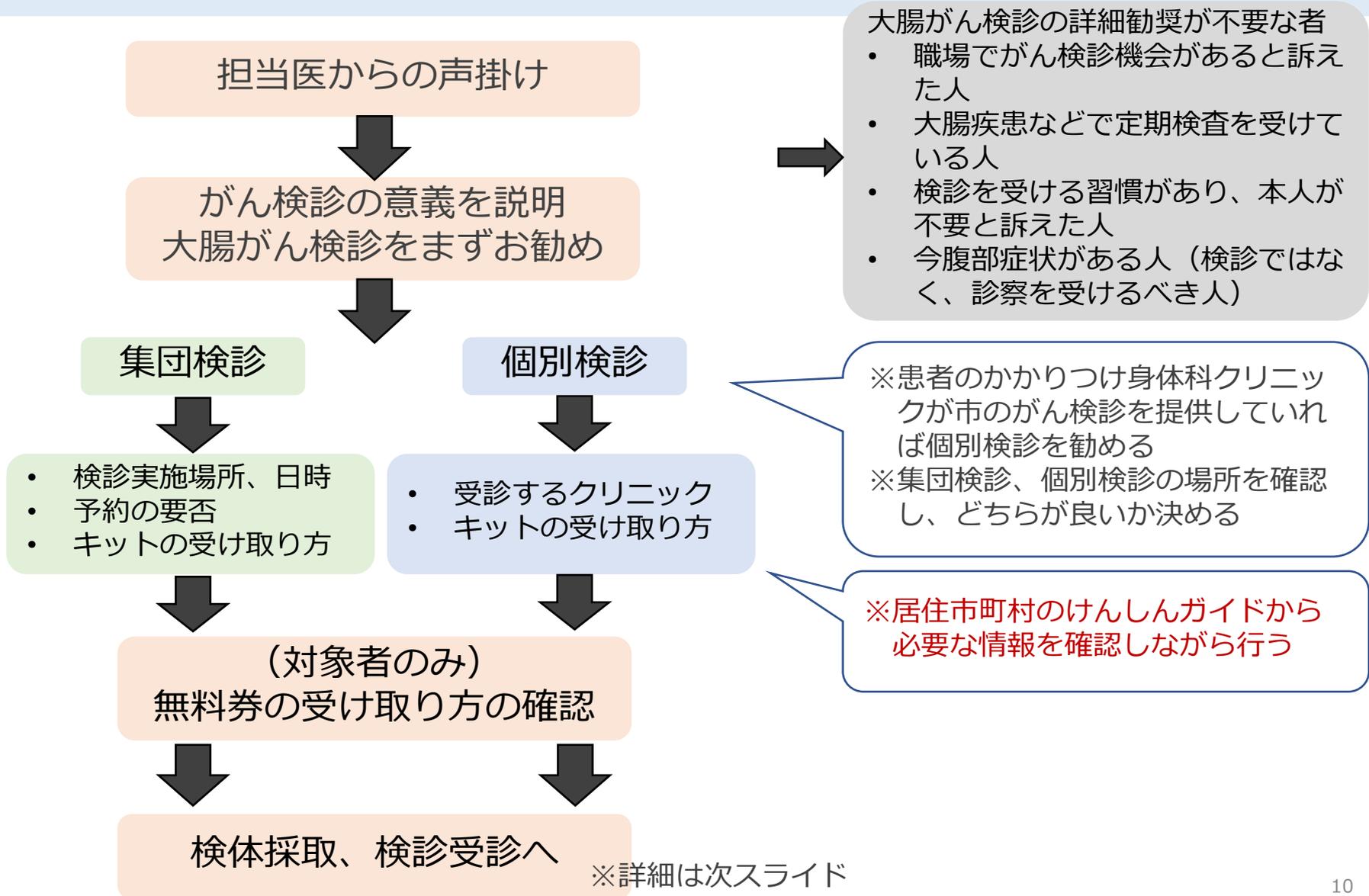
- 集団検診、個別検診実施の有無
  - がんの種類によって、どちらかのみ市の町村もある
- 無料券の有無
  - 生活保護受給世帯と市民税非課税世帯が対象となることが多いが、生活保護受給世帯のみが対象の市町村もある
  - 無料券がない市町村もある
- 無料券の受け取り方
  - 所定の窓口まで行って受け取る市町村
  - 所定の窓口へ電話することで郵送も対応してくれる市町村
  - 生活保護受給証明証を検診受診時に持参するだけでよい市町村
- 検査キットの受け取り方（大腸がん検診）
  - 個別検診を行う医療機関で事前に受け取る
  - 集団検診会場で事前に受け取る
  - 郵便局など市が定めた場所で事前に受け取る
  - 申し込みをしたら検査キットが郵送で送られてくる（まれ）

# 市町村によって受診する手続きが異なる

- 集団検診、個別検診実施の有無
  - がんの種類によって、どちらかのみ市の町村もある
- 無料券の有無
  - 生活保護受給世帯と市民税非課税世帯が対象となることが多いが、生活保護受給世帯のみが対象の市町村もある
  - 無料券がない市町村もある
- 無料券の受け取り方
  - 所定の窓口まで行って受け取る市町村
  - 所定の窓口へ電話することで郵送も対応してくれる市町村
  - 生活保護受給証明証を検診受診時に持参するだけでよい市町村
- 検査キットの受け取り方（大腸がん検診）
  - 個別検診を行う医療機関で事前に受け取る
  - 集団検診会場で事前に受け取る
  - 郵便局など市が定めた場所で事前に受け取る
  - 申し込みをしたら検査キットが郵送で送られてくる

この手続きを順にそつて確認、説明する勧奨資料になっています

# 勧奨の流れ（初回面接時）



# 受診の流れ（検体採取、受診、結果通知）

集団検診

個別検診

自宅で便を採取

※提出前5日以内に採取する  
ような説明が多い

集団検診会場で提出

※市町村によっては郵送  
で提出する

クリニックに提出

検診結果が市／クリニックから通知

※結果は10日～1ヶ月程度で通知

# 精密検査受診までの流れ

